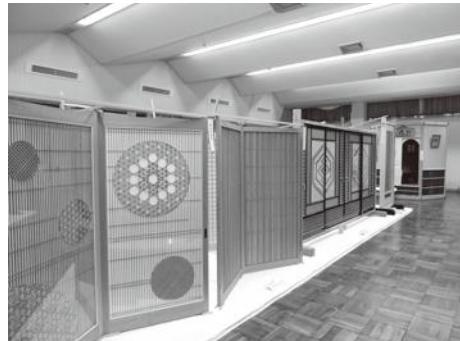


第40回三重県建具作品展示会

三重県建具工業協同組合(長野政次理事長)は、5月18・19日の2日間、鈴鹿市の鈴鹿地域職業訓練センターで「第40回三重県建具作品展示会」を開催し、19日に優秀作品に対する表彰式が行われました。

当組合員の建具業者による格子戸等約30作品が展示され、伝統的な職人技や繊細な匠の技に来場者は顔を近づけて見入っていました。



朝津味ヨモギ餅作り体験



企業組合高野尾ヨモギ会(田中康章理事長)は、5月11日に、津市高野尾町の農産物直売所「朝津味」で収穫したばかりのヨモギを使ってよもぎ餅を手作りする体験会があり、親子連れでにぎわいました。

参加者は、組合員から葉の摘み方のアドバイスをもらいながら、餅作りに使うヨモギを自分達で収穫し、子どもたちは、手につく餅に悪戦苦闘しながら、よもぎ餅作りを楽しんでいました。

全国の先進組合を紹介します!

テーマ：特徴ある活動／くざき鮑おべん企業組合（三重）

●特産品開発と朝市開催で地元の魅力発信と地域活性化

<https://www.kuzakiawabi-oben.com/>

■背景と目的

鳥羽市国崎町は、歴史ある港町ですが過疎化が懸念されており、特性を活かした新たな事業展開を進めて地域活性化を図る必要があると考え、鮑などを活用し、加工食品を開発・販売していく任意グループを有志で組織し取り組んでいましたが、信用力が乏しく、思うように取引先の開拓などが進みませんでした。商品の製造や販路拡大など事業拡大を図り地域を活性化させるには、法人格が必要と判断し国崎地区の漁業者、旅館業、サラリーマン等が参画できる企業組合を設立しました。

■取組の内容と手法

当組合の販売事業(地元名産の鮑や「アカモク」等)を行うにあたり、生鮑には、安定した取引が続けられますが利幅が少ないので、加工商品の開発・販売に重点を置く必要のある委託販売では、在庫を抱えることになり、資金負担がある商品の加工、販売等事業推進には、人手が必要であるなどの課題がありました。地元でとれる「アカモク」の加工・販売にも課題が見られましたが、代表理事の行動力・リーダーシップとそれを支える組合員により、課題解決に取り組んだ結果、売上増大、在庫負担軽減、利益率アップ等に

つながっています。しかしながら、「アカモク」は健康志向の高まりもあり需要が見込める商品ですが、依然として課題は残っており、現在の加工場は手狭で生産能力が追い付いていません。また、収穫時期が短いこともあり、長期間保存できる冷凍設備も必要であるため、新たな加工場と冷凍設備を設置する計画を策定中です。

現在、地域活性化の取り組みとして毎月第一、第三日曜日に朝市を開催して、観光客や近隣の消費者を集めし国崎の賑わいを創出するとともに、鳥羽市の今浦、安楽島の朝市と「朝市会」を組織し連携・協力して、市内・県内外のイベント等に参画し、売上増大、知名度向上に貢献しています。

■成果とその要因

鮑や海藻など地元の海産物を加工・販売し着実に売上を上げていますが、更なる売上増大と利益率の改善を図るために、需要が高まっている「アカモク」に着目し加工・販売で成果を上げています。また、朝市を開催することで国崎地区的賑わいを創出し、他の朝市とも連携してイベントに参画し販売や知名度向上に貢献しています。